

9月25日（金）中秋の名月 給食では「お月見ゼリー」をいただきました

9月25日は「中秋の名月」です。

「中秋の名月」とは、秋の真ん中にあたる旧暦8月15日の夜に見える月を眺めて楽しむ、日本の伝統的な行事です。「十五夜」とも呼ばれ、昔から、すすきやお団子などをお供えして、美しい月を楽しんできました。

この日の給食には、中秋の名月にちなんで「お月見ゼリー」が登場しました。給食の時間になると、子どもたちはゼリーを見つけて、「お月さまだ!」「かわいいね」「早く食べたい!」と嬉しそうな声を聞かせてくれました。友達とゼリーを見せ合ったり、月やお月見の話をしたりしながら、楽しく給食をいただきました。

季節の行事を給食を通して身近に感じ、日本の伝統や文化に親しむひとときとなりました。



★給食メモ

葛城市学校給食センター
9月25日（金）

きょう
今日は

【食パン・牛乳・のりおさといも・スロッピージョー・お月見ポトフ・お月見ゼリー】

のお月見献立です。

秋はすんだ夜空に月が大きく見えます。特に十五夜の満月はとても美しく見えることから「中秋の名月」と呼ばれています。お月見の夜には稲穂に見立てた「すすき」を飾り、「団子」やこの時期に畑で収穫した「里芋」や「枝豆」などをお月様にお供えします。そこには、食べ物のお月見を神様に感謝するという気持ちがこめられています。

今日はみんなでお月見の話などをしてみてはいかがでしょうか・・・

